

2024年度

自己評価結果公表

学校法人大阪聖マリア学園
認定こども園
藤井寺カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 2024年度、重点的に取り組んだ目標・計画

キリスト教人間観の根底にあるように、一人ひとりの個性を大切にし、子どもたちが自主自律に向かうことができるよう導きたい。

年主題：～ さあ 漕ぎ出そう 奏でよう ～

- ・神さまと いつも一緒・・・安心してうごきだす
- ・友だちと協力して・・・考えてつくりだす
- ・チャレンジ・・・挑戦する気持ちを育む

コロナ感染症も気にせず本来の保育が繰り広げられていくなかで、新しいことにも挑戦して漕ぎ出したい。また、友だちの思いや言葉を聞きながら、一緒に奏でて良い経験ができるよう保育を繰り広げたい。

3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の 資質向上	・保育の中に「起・承・転・結」を取り入れ、子どもたちが興味を持ち、想像を膨らませる取り組みを盛り込んだ保育を展開することができた。 ・職員の資質向上のため園内園外の研修に積極的に参加することができた。 ・教職員全員でモンテッソーリ教育の理解を深めることができ、子どもの観察を今までとは違う視点で行うことができています。 ・教職員一人一人が、子ども・保護者・同僚に対して愛の実践を行う。
教育内容を 深める	・自由選択活動の副教材を年齢、発達に沿ったものを準備することで、子どもたちが自分で選ぶことに重きを置くことができた。 ・ピアノコンサート、移動水族館、移動動物園、植物の栽培など本のものに触れる機会を多く持つことができた。 ・支援が必要な園児が増えている。幼稚園に通園することで安心するのではなく、臨床心理士の相談会や療育先との連絡を密にし、個々の成長を見守る。
環境整備	・園舎3階を有効化するために改修工事を実施した。 親子サロン、クッキング仕様に部屋をリフォーム 会議室仕様に部屋をリフォーム ・保健室スペースを作るために改修工事を実施した。 ・支援が必要な子どもたちが自由に教材、教具に触れることができるように、人的、物的環境を整えていっている。
保護者・ 地域との連携・ 情報発信	・認可外2歳児クラスを充実させる。 ・レーザーキッズ配信、ホームページの更新など、保育の可視化に努めた。 ・地域の催しに積極的に参加し、縦や横のつながりを大切にすることを心がけた。 ・土曜日に親子で参加できるイベントを計画し、地域の子どもたちを集客することができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、～ さあ、漕ぎ出そう 奏でよう ～という年主題を掲げ、神さまに見守られていることに安心して、友だちと協力をしていろいろなことに挑戦をする気持ちを育んでいった。

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、愛情を注ぎ子どもと向き合う先生たちの姿があった。子どもたちが自分たちで考えたり意見を言い合える機会を多く持ち、自主的に活動に参加できるように仕向けていくこともできた。「不思議だな」「なんだろう」の問いかけに一緒になって調べることでさらに子どもたちの意欲もわいてきたように感じる。

保護者のアンケートでは、好評をいただいたがこれに甘んじることなくより良い保育に邁進したいと考えている。

今年度も保護者の皆様や近隣の皆様、教会の方、子どもたちに関わる全ての方の協力を得て、無事1年を終えることができたことを感謝したい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の 資質向上	・次世代のリーダーを構築していくために研修に派遣する。 ・職員が他園の保育を見る機会をつくり、公開保育などへの参加を促す。 ・モンテッソーリ教育の理解を深める。 ・研修した内容をアウトプットできる機会を持つ。
教育内容を 深める	・「どうして?」「ふしぎ」というセンスオブワンダーを研ぎ澄まし、探求心に応える保育を目指す。 ・本物と触れる機会を多く持つ。 ・支援が必要な子どもたちが増える中、保護者や臨床心理士とも連携を密にし、一人ひとりに寄り添う保育を心がける。
環境設定・整備	・2歳児のトイレの改修工事を行う。 ・下水道の切り替え工事を実施する。 ・自主自立が確立していけるよう、モンテッソーリ教育の環境を人的、物的に充実させる。
保護者・ 地域との連携・ 情報発信	・認可外2歳児クラスを充実させるとともに3号認定児の受け入れの準備をする。 ・保幼小連携のプロジェクトに参加して、地域の中の一つの園として歩む。 ・地域の子育て支援広場やホームページのブログを利用して、情報を発信する。

● 2025年度、重点的に取り組む目標・計画

キリスト教人間観の根底にあるように、一人ひとりの個性を大切に、子どもたちが自主自律に向かうことができるよう導きたい。

年主題：～ とともに ～

- ・神さまといつも一緒であることに安心して歩む
- ・子どもとともに、保護者とともに、職員とともに、地域と主に歩む
- ・職員の笑顔とともに子どもたちの平和を築く

どんな時でも子どもたちが安心して過ごせる場所がこの幼稚園であることを願い、常に職員が笑顔であることで、子どもたちにも安心感、幸せな気持ちを届けることができることを目指したい。

● 2025年度の評価項目

- ・教職員の資質向上
- ・教育内容を深める
- ・子どもが一人で生活できるための環境設定
- ・保護者、地域との連携、情報発信
- ・安全管理

6. 学校関係者の評価

約60年前、近隣の市町の先駆けとして藤井寺市に開園された藤井寺カトリック幼稚園。少子化、幼児教育の多様化の中、認定こども園の開設など、経営・運営に創意工夫の努力が伺われます。

近隣の私立こども園と事業内容は同様ですが、言葉遣い、礼儀の正しさ、登園降園時にマリア像にお祈りしている姿は、カトリック幼稚園のキリスト教的人間観に基づく教育方針が生かされていることが感じられました。

事業面積の狭小のなか、年々設備面の改善努力と先生方の熱意、努力に敬意を表したいと思います。